ギシナビ News
令和２年８月
【003 号】

DreamGP
Dream Growing Platform
株式会社ドリーム・ジーピー
【大阪本社】
〒556-0004
大阪市浪速区日本橋西１丁目3-19 南海日本橋ビル1F
TEL:06-4708-4877／FAX:06-4708-4789

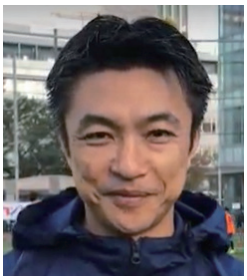
≪特集≫ オンラインセミナー報告 ［テーマ］ ～義肢装具業界の地域貢献～

【第3回】新たな価値創造へ、チャレンジ！その時、変化は強さになる！

６月20日（土）、義肢装具士の皆様へ向けての第3回オンラインセミナーを開催致しました。

今回は、株式会社ＭＰａｎｄＣ（エムピーアンドシー）代表取締役社長の森下尚紀氏を客員講師にお迎えし、『自身の経験知から～フィールド・バックヤード・セカンドキャリア～』と題してご講演頂きました。

１９７２年東京生まれ。学生時代、多くの時間をサッカープレーヤーとして過ごし、やがてプロの道を志すも、プレー中の大けがにより断念。大学卒業後は大手スポーツメーカーに就職し、その経験を基にスパイクシューズの開発を手がけるなど、当時まだ黎明期であった日本において、いかにサッカー文化を根付かせ拡大するか、限られた予算の中でいかに最大の成果を上げられるか、時には異業種とコラボし、またある時にはメディアのもつ力を利用するなど、そこには実に様々なアイデアと巧みな戦略があったのだということを、当時の骨折りなど微塵も感じさせない語り口で聞かせて下さいました。


森下 尚紀 氏

また、現在展開されている多様な事業の紹介、かつて所属した大手メーカーでの、トップが変わると組織はどのように変化してゆくのかを目の当たりにした体験、リーダーのコミットメントの重要性、日本のスポーツ市場の今後の展望、義肢装具業界の真の強み等々、大変示唆に富んだお話を頂きました。

有薗 泰弘 氏

楠岡 誠広 氏

鈴木 和敏 氏

続いて、弊社代表荒山による〝ｗｉｔｈコロナ〟という不可逆の時代に変化し続けることがいかに強みとなるか、また、弊社研究員アヘゴによるマイフットステーション泉大津店および故郷アフリカに義足で希望を届ける「Ｊａｍｂｏ（ジャンボ）Ｐｒｏｊｅｃｔ」の紹介、弊社執行役員成毛による弊社開発機器の実演動画披露、急遽予定を変更して、弊社営業中村による経済産業省主導の「ものづくり補助金」についての解説があり、最後に、森下氏と参加者の皆様との闊達な質疑応答をもって、第3回セミナーはお開きとなりました。

【第4回】義肢装具業界と地域貢献と～業界が目指すべき方向性とは～

７月18日（土）、義肢装具士の皆様へ向けての第４回オンラインセミナーを開催致しました。

今回は、本年度から開始した本セミナーシリーズ初の試みとして、パネルディスカッション形式による進行を企画し、日本各地から義肢装具製作業を主軸にしながら、同時に一般向けの事業も展開されている3社の代表をお迎えしました。

日々の業務を通して感じていること、考えていることなどについて、互いにアイデアを出し合い、自由闊達に話し合い、情報を共有することで、イノベーションのヒント、ソリューションの糸口を見出した方も少なからずおられたのではないでしょうか。

義肢装具業界における保険適用外の事業展開を視野に入れた「両利きの経営」の提案、弊社代表荒山によるアメリカにおけるオーダーインソール市場の現状と日本の潜在需要分析、義肢装具士が作るフルオーダーインソールの付加価値やブランディングの必要性という提言があり、昨年設立50周年を迎えた熊本県八代市にある有園義肢㈱代表の有薗氏は、保険適用など制度面からの課題や様々な啓蒙活動の必要性を挙げられました。

京都に拠点を置く楠岡義肢製作所㈱代表の楠岡氏からは、付加価値をつけるには、モノを売るという考え方からサービスを売るといった発想の転換が必要等の提言があり、沖縄からご参加の㈲テクテクワークショップ代表の鈴木氏からは、日本の市場の未成熟さや、顧客との実体験を通して感じるアメリカと日本との足の健康に対する意識の違い等のお話がありました。

弊社執行役員成毛による「Ｍｙｆｏｏｔｓｔａｔｉｏｎ」を実例に、足圧測定システム「ｆｏｏｔｓｃａｎ」の操作や設計ソフト等の実演動画、弊社営業中村による「ものづくり補助金」のご案内を最後に、セミナーは無事終了致しました。

終了後のアンケートからは、パネルディスカッション形式についてご好評の声を頂く等、弊社もまた勇気とエネルギーを頂いております。今後も引き続き、ご参加頂く皆様に有用となる企画を進めて参りますので、何卒宜しくお願い致します。

【紹介】日々の研究、ほんのひとコマ

ハイヒールの足底圧評価：ブランド vs 歩行分析

→原文はこちらから

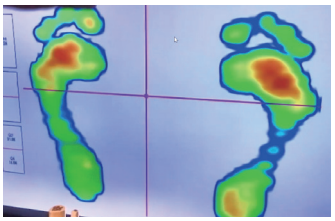
アドゥアヨム・アヘゴ・アクエテビ（弊社研究員）

【背景】
ハイヒール（以下、パンプス）は、職場やファッション業界で一般的に使用されていますが、この種の靴の特徴でもあるヒール高は、アキレス腱の短縮、ふくらはぎの筋肉の短縮、歩行の不安定性、足首の緊張など、体の姿勢に悪影響を及ぼす可能性があります。また、通常の（ヒールのない）靴とパンプスを使った歩行分析調査をしたいくつかの研究があります。靴のサイズとヒールの断面積は各メーカーによって異なり、靴ブランド業界で採用されている標準的または共通の基準はありません。さらに、歩行の安定性と快適性に影響するパンプスのブランドについてはほとんど知られていません。そこで、より快適な靴を特定するために、異なる5つのブランドの中から「同じヒール高（5 cm）および同サイズ（23.5 cm）のパンプス（以下、比較サンプル）」を選定し、歩行分析を試みました。

【内容と方法】
6人の成人女性が実験に参加しました。パンプス（比較対照物）の計測データを収集する前に、参加者全員の裸足の3D形状を測定しました。次に、フットスキャン（Rsscan Int. Belgium ※足圧測定機）を使用して、比較サンプルを履いた状態での歩行を計測し、データを収集しました。参加者は、中央にフォースプレート（フットスキャンに同じ）を配置した約5mの距離を数回往復するのですが、その際、右足または左足のいずれかがフォースプレートの出来るだけ中央を通過するよう歩行してもらい、そこで得られたデータを以下のように処理しました。すべての比較サンプルにおける、足のピーク圧力、中心圧力（リアフット、ミッドフット、フォアフット）を分析し、IBM SPSS 22.0ソフトウェアを使用して、一元要因分散分析を行い、事後検定にはBonferroni法を用いた多重比較を行いました（$p < 0.05$）。

【結果と結論】
異なる足の領域での足底圧分析では、テストした5つの比較サンプルのブランドごとの違いが示されています。フォアフットの地面への負担が少ないパンプスが特定され、ヒール高／断面積の比率が決定されました。パンプス製造に標準的な基準を取り入れることで、歩行の安定性と安全性が向上することでしょう。さらに、パンプスにおける衝撃吸収オーダーメイドインソールの設計を強くお勧めします。

ジャンボプロジェクト
JAMBO Project
Japan-Africa Medical Bridge Organization Project



【弊社取扱機器のご紹介】

footscan
フットスキャン

近年多くのお問い合わせを頂いております弊社取り扱い機器、足圧測定機「ｆｏｏｔｓｃａｎ（以下、同機）」をご紹介します。

同機では、①スタティック（静止時の足圧状態）②バランス（動作時の圧力変化）③ダイナミック（歩行時の荷重移動の様子）等、計測者の足の状態を包括的に捉えるための計測をすることが可能となります。

計測データは接続モニター上に様々な分析結果として表示され、圧力分布や圧力導線を確認することが出来ます。

静止時の計測のみでは計測者の正確な足の状態や身体のバランスを同定することは難しく、動作時および歩行時の計測情報を加味することで、より一層計測者の実態に迫り、それに即した対策を打つことが可能となります。

詳細につきましては是非一度、お問い合わせ下さい。

第５回 Zoom 利用による無料オンラインセミナー

義肢装具士の皆様へ

【日 時】2020年８月23日（日）
10：00～12：00

『ＩＰＷ（専門職連携）の可能性を探る
～経験知と具体的実例から～』

【演 題】

1．10：00～11：20
『スポーツ医学研究を通して見えた予防医学という視点 ～スタンフォード大学での学びから～』
講師：福島 八枝子 氏

～～～～～～～ 休憩（11：20～11：30）～～～～～～～

2．11：30～11：40
『MyFoot station 泉大津店の取り組み
～義肢装具士の地域貢献としての保険適応外事業の可能性の実例～』
講師：川合 俊哉（弊社取締役）

3．11：40～11：50
●動画による実演『足底板 ～切削機活用による時短製作のご提案～』
講師：成毛 喜男（弊社執行役員）

4．11：50～12：00 質疑応答、その他

福島 八枝子 氏

MyFoot station
泉大津店 店内（一部）

インソール専用切削機

【お申込み・お問合せ】※お申込み期限：８月20日（木）

主催 ㈱ドリーム・ジーピー
TEL：06-4708-4877／FAX：06-4708-4879
E-mail：info@dreamgp.jp

・「氏名（ふりがな）、貴社名、所属名・役職、電話番号、メールアドレス」をご用意の上、ＦＡＸまたはE-mailにてお申し込みください。セミナー当日、お伺いしたメールアドレスへ専用ＵＲＬを送信致しますので、そちらをクリックして頂くことでご参加頂けます。